



みどりのふくし

第97号
令和6年2月

みどりのふくし点訳版・音訳版もあります。ご希望の方は緑区社協までお問い合わせください。

第18回ボランティアフェスティバルinみどり

～つなげよう！ 広げよう！ ボラネットみどりの輪～

区内のボランティア団体が集う楽しいイベントです。
スタンプラリーも行いますので、楽しみながらボランティアに触れるチャンスです！
赤ちゃんから大人までぜひ皆さんご来場ください！！

入場
無料

日時：令和6年2月17日（土）10：30～15：00

会場：徳重地区会館4階 体育室・多目的室（緑区元徳重1丁目401番地 ユメリア徳重内）

主催：ボラネットみどり、緑区社会福祉協議会



主なプログラム

- ・スタンプラリー
- ・福祉体験（手話、点字、知的・発達障害）
- ・工作、おりがみ
- ・おはなし会
- ・世界の民族衣装試着
- ・フラダンス 等

特別イベント

ピニャータ



（幼児から中学生まで）



目次

- 第18回ボランティアフェスティバルinみどり…………… 1
- 「第5次緑区地域福祉活動計画」策定作業は佳境に…………… 2
- 好きなことでボランティアをしてみませんか？…………… 2
- 「名古屋市高齢者見守り支援事業」をご存知ですか？…………… 2
- たまり場（サロン）紹介…………… 3
- 令和5年度共同募金実績報告…………… 3
- “出会い”がたくさん！はつらつクラブ…………… 4
- 認知症啓発イベント「認知症ってなぁに？2023」を開催しました……… 4
- ご家庭に余った食品ありませんか？～フードドライブにご協力ください！～ …… 5
- 緑区地域福祉のつどいのご案内…………… 5
- ははの箱基金より、ご寄付をいただきました…………… 6
- ご寄付ありがとうございました…………… 6
- 緑区社会福祉協議会事務所のご案内…………… 6

社会福祉法人 名古屋市緑区社会福祉協議会

〒458-0041 名古屋市緑区鳴子町1-7-1（緑区在宅サービスセンター内） ☎ 891-7638 / FAX 891-7640

ホームページ <https://nmidori-shakyo.jp>

ブログ <https://midori-syakyu.hatenablog.com/>

Eメール m-fukushi@nmidori-shakyo.jp



令和6年能登半島地震災害義援金の
募集にご協力をお願いします！

緑区社会福祉協議会、緑区役所、徳重支所に募金箱を設置しています。
皆様からお寄せいただいた義援金は、被災地市町村を通じて被災者へ
配分されます。詳しくは上記二次元コードを参照ください。

「第5次緑区地域福祉活動計画」策定作業は佳境に

人がつながり支えあうまち緑区をつくるため、地域の住民や各機関が話し合い、実行していく「第5次緑区地域福祉活動計画」は、毎月1回、3つのワーキンググループに分かれ策定に向けて協議を行っています。

●どの子どもも豊かな育ちの環境で成長できる！

例えば・・・「学校」に行けないこどもの日中の居場所づくり

●ご近所でお互いに見守り見守られ、助け合いのできる地域に！

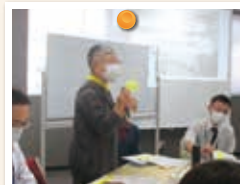
例えば・・・地域の見守り状況がわかり、困ったときに助けあいができる「支えあいマップ」づくり

●どの世代の人にも福祉に触れてもらう機会づくり！

例えば・・・企業等で働く就労者に対しても福祉について伝えられる機会づくり

住民、NPO、行政、こども、障がい、外国人…。多様なバックグラウンドをもち、日頃それぞれの分野で活躍されている策定メンバーからさまざまな意見が交わされ、多彩なアイデアが生み出されています。

策定作業は折り返し地点を迎え、今後は出されたアイデアを整理したり、実施スケジュールなども検討しながら、「今後の緑区がこうなったらいいな！」を形にしていきます。そして、形になった計画は令和6年度4月から実施に向けて動き出します。地域のみならずで一緒に実現を目指していければと思います。



11月合同
ワーキンググループの様子

好きなことでボランティアをしてみませんか？

ボランティアは、特別なことでも、難しいことでもありません。あなたの好きなことや得意なこと、できることを、ほんの少し他の方におすすわけしてくださることです。無理をせず、自分のペースで問題ありません。あなたの“ほんの少し”が大きな力になります。

緑区社会福祉協議会のボランティアセンターでは、ボランティアを始める方のご相談、ボランティア先の調整も承っています。自分一人では何をしたらいいのかわからないという方や、何が向いているのかわからないという方も、一度お気軽に本会までご連絡ください。

音楽が好き



音楽ボランティア

話を聞くことが好き



聴取ボランティア

料理が好き



子ども食堂ボランティア



「名古屋市高齢者見守り支援事業」をご存知ですか？



高齢者の方が地域とのつながりを持ちながら安心して暮らし続けられるよう、専任の職員（見守り支援員）がご自宅に訪問し、その人に合った支援を行います。

見守り支援員の訪問

地域から孤立している高齢者の自宅へ定期的に訪問を行い、安否の確認や様子の確認を行います。

見守り電話(いきいきコール)

定期的にお電話をすることで、孤独感の解消や安否の確認を行います。

▽ご相談はいきいき支援センターへ

	住所	電話	担当学区
緑区北部 いきいき支援センター	緑区鳴子町1-7-1	899-2002	旭出・浦里・片平・小坂・ 滝ノ水・長根台・鳴子・大清水・ 神の倉・熊の前・黒石・常安・ 戸笠・徳重・鳴海東部・桃山
分室	緑区徳重五丁目625 アーバニティ幸 1階	877-9001	
緑区南部 いきいき支援センター	緑区左京山3038	624-8343	相原・有松・大高・大高北・大高南・ 桶狭間・太子・鳴海・南陵・東丘・平子・緑

たまり場(サロン)紹介

いっぶく茶屋
(片平学区)

2012年8月9日にスタートした“たまり場「いっぶく茶屋」”をご紹介します。
地域住民のつながりや支えあいによって、『無縁社会』から『有縁社会』を築いていくことを目的に立ち上げられたたまり場です。

訪問したこの日は、ペットボトルキャップを使った帽子作りで、手を動かしながらおしゃべりもして、とてもにぎやかでした。活動内容は、季節に合わせたイベントだったり参加者の意見を聞いたりと工夫しています。

一人暮らしの参加者も多く、みなさんたまり場いっぶく茶屋に通うことを毎回楽しみにしています。中には『元気がなくなってしまう時があったけど、ここに来て、みんなとおしゃべりをたくさんして、とっても元気になった』とお話してくれる人も。

見守り、見守られるつながりを大切にしているたまり場でした。

『ぜひ、みどりのふくしで自分たちの活動も紹介して欲しい!』と希望されるサロンがありましたら、緑区社会福祉協議会サロン担当までご連絡ください。



“自分のまちを良くするしくみ”

～令和5年度共同募金にご協力ありがとうございました～

自治会・町内会の方をはじめ区内の法人・学校、募金箱を設置していただいた店舗等多くの方のご協力をいただきました。寄付者並びに募金活動をしていただいた皆様、ありがとうございました。お寄せいただいた募金は身近な緑区および、愛知県下の福祉事業などに役立てられます。

※赤い羽根データベース「はねっと」(<http://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do>)で使いみちの詳細をご覧ください。

共同募金総額 **10,777,581円** ※令和5年12月末日現在

内 訳 一般募金 ……………10,684,550円
歳末たすけあい募金 ……………93,031円

運動期間 令和5年10月1日～12月31日



第75回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール入賞作品の紹介

ポスター



東海テレビ福祉文化事業団賞
滝ノ水小学校
2年 山本衛澄さん



名古屋市教育委員会賞
熊の前小学校
5年 信宗泉美さん



銀賞
滝ノ水中学校
2年 沼倉芽咲さん

書道



銀賞
大高南小学校
6年 神谷菜緒さん

他にもたくさんの作品をお寄せいただきました。小中学生のみなさんありがとうございました。

“出会い”がたくさん! はつらつクラブ

同じ趣味のお仲間と



レクリエーション

共通の話題で盛り上がることも!

一緒に通うお仲間と



毎週会えるのが楽しみ!

外部講師・ボランティアと



さまざまな分野の楽しい講座!

専門職・専門機関と

公所や専門機関とつながる
きっかけに!

同じ地域に 暮らす人たちと

地域とのつながりも
深まります!

第36期(R6.4~9月)

はつらつクラブ 参加者募集中!

毎週地域のコミセン等で、健康づくり・仲間づくりに取り組んでいます。詳細は広報なごや2月号をご覧ください。か緑区社会福祉協議会はつらつ担当までお問い合わせください! (891-7638)

元気にがんばるスタッフと



一緒に介護予防にLet's try!

元気な自分と



楽しく体を動かし体も頭も健康に!

いきいきとした自分と



つながりや活動が広がり
充実した日々!

新しい自分と



初めてのことにチャレンジ!

認知症啓発イベント「認知症ってななに?2023」を開催しました

令和5年10月31日(火)に緑文化小劇場にて認知症啓発イベント「認知症ってななに?2023」を開催しました。このイベントは、認知症や認知症予防の理解を深め、認知症の人が安心して暮らせる地域づくりをすすめていくために、緑区地域包括ケア推進会議 認知症専門部会が主催しているものです。

講演会では「知っておきたい認知症のこと~専門医からのメッセージ~」と題して、医師の松永慎史先生にご講演いただきました。そのほかに劇団オレンジリングによる寸劇の公演、きらきらマン体操の紹介、展示コーナーでは「認知症カフェ」や「認知症の方にやさしい店」などの様々な緑区内の認知症の人に関連する地域の情報を紹介しました。当日は300名近い方にご来場いただきました。

認知症は誰でもなりえる病気です。参加者の方からは、「明日は我が身。講演が分かりやすく、認知症について理解できた」「4歳上のお友達が認知症かなと思っています。私にできることをしたいと思います」等の声が聞かれ、「じぶんごと」として受け止めていただくことができました。



緑区地域包括ケア推進会議とは?

緑区において高齢者が暮らしやすい地域社会をつくるために、医師会、歯科医師会、薬剤師会、民生委員児童委員連盟、老人クラブ、NPO法人、ボランティア団体、介護保険事業者、区役所、保健センター、社会福祉協議会、いきいき支援センター等様々な組織が集まって協議する場です。

Webサイト



ご家庭に余った食品ありませんか？

フードドライブにご協力ください！

期間 令和6年2月26日(月)から3月7日(木)まで

※土日を除く、9時～17時受付

受付 緑区社会福祉協議会

(緑区在宅サービスセンター内)

フードドライブの流れ



対象となる食品

◎賞味期限(または消費期限)が2か月以上先の常温で長期保存が可能なもの
→お米、乾物(麺類など)、缶詰、インスタント・レトルト食品、飲料(アルコール飲料を除く)、調味料、乳幼児用食品 など

<お受けできない食品>

◎生鮮食品、冷凍・冷蔵食品、びん詰めのもの、開封されているもの

※お米に関して お米は賞味期限の記載がなくても構いませんが、白米の場合、精米時期から6か月以内、玄米の場合、収穫時期から2年以内のものでお願いいたします。

令和5年10月30日～11月9日実施のフードドライブご報告



- レトルトやカップ麺、お米、お菓子など約70点いただきました！
- いただいた食品はフードバンク団体「セカンドハーベスト名古屋」と緑区内の子ども食堂にお届けしました。
- たくさんのご協力ありがとうございました！

今回も皆様の温かいご寄付をお待ちしております！
次回は令和6年8月ごろ実施予定です♪



緑区地域福祉のつどい

多年にわたり地域福祉活動に取り組む方々の表彰を行い、地域福祉を推進されている関係者のみなさまに、より福祉に関心を持っていただく機会となるよう、講演会を開催します。

▶日時：令和6年2月29日(木) (受付開始) 13:30 (開演) 14:00

▶場所：徳重地区会館 体育室(ユメリア徳重4階)
(緑区元徳重一丁目401番地)

▶内容：【第1部】緑区地域福祉事業功労者顕彰式典

【第2部】福祉講演会 講師：一般社団法人『注文をまちがえる料理店』代表理事 和田 行男氏

入場
無料

申込
不要

わだ ゆきお



プロフィール 1955年、高知県生まれ。特別養護老人ホーム勤務などを経て、1999年に東京都初の認知症高齢者グループホーム「こもれび」の施設長に就任。2023年から株式会社大起エンゼルヘルプで、デイサービスやグループホーム、小規模多機能ホームなどを統括。2016年に認知症患者がホールスタッフを勤める「注文をまちがえる料理店」を立ち上げるなど従来にないアプローチを開拓し続け、認知症への社会理解を深めるさまざまな活動を行っている。

社会福祉の振興に 緑区歯科医師会様『ははの箱基金』より、ご寄付をいただきました。



寄付金額 **1,500,000円**

『ははの箱基金』は、歯科治療上不要となった金属を浄財として積み立てる緑区歯科医師会独自の活動です。本会へのご寄付は、今回で38回目となります。この寄付金を活用し緑区内のボランティア団体等へ、事業活動に必要な備品の購入資金の助成を行っています。

『ははの箱基金』協力歯科医院

相生デンタルクリニック	神の倉歯科	竹内歯科医院	本多ファミリー歯科
あおい歯科・こども歯科	神谷歯科医院	たけうち歯科クリニック	まつやま歯科医院
あくね歯科クリニック	カワグチ歯科クリニック	棚橋歯科	みきデンタルクリニック
荒木歯科	熊の前歯科	つゆくさ歯科医院	みずたに歯科
有松わたや歯科クリニック	こじま歯科医院	つるがさわ歯科	みずほ歯科クリニック
池上台歯科	こじまデンタルクリニック	伝治山歯科医院	みなみ大高歯科・矯正歯科クリニック
いしだ歯科医院	児玉歯科	土井歯科医院	みやじま歯科クリニック
いわお歯科クリニック	こんどう歯科医院	とくしげ歯科	山岸歯科医院
いわた歯科	左京山歯科クリニック	徳重なかよし歯科	山田歯科医院
いわみ歯科クリニック	さくら歯科医院	ななつ星デンタルクリニック	山本歯科医院
うえのだ歯科	桜ファミリー歯科	にこやか歯科	やまもとデンタルクリニック
うばこやま歯科	さとう歯科	西尾歯科医院	ユウ矯正歯科・小児歯科
大竹デンタルクリニック	サンこどもデンタルクリニック	のりくら歯科	横井歯科医院
大高かなで歯科	清水山歯科医院	はやし歯科	ラーナ平岩デンタルクリニック
おおもり矯正歯科クリニック	シン歯科クリニック	葉山歯科	
おおやま歯科医院	じんの歯科クリニック	ばんの歯科医院	
おけはざま歯科クリニック	スエナガ歯科医院	ひまわり歯科医院	
オレンジ歯科クリニック	すぎと歯科医院	ふくしま歯科医院	
かじかわ歯科クリニック	スリーズ歯科	藤井歯科医院	
鎌倉台歯科クリニック	太子歯科医院	藤原歯科	



ご寄付ありがとうございました

(令和5年8月9日～令和5年12月8日受付分)

寄付金総額 **60,000円**

寄付物品 **マスク、雑巾、食品等**

お寄せいただきました寄付金・寄付物品は、区内の福祉事業の推進に役立させていただきます。ありがとうございました。

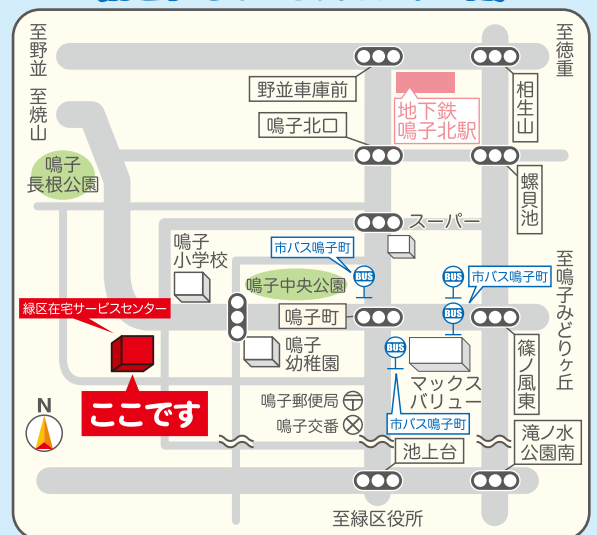
- ・伊藤正広 様
- ・熊谷雅代 様
- ・西口哲秀 様
- ・大高北学区女性会 様
- ・その他匿名11件



緑区社会福祉協議会では、寄付金だけでなく、物品（未使用品）の寄付も受け入れておりますので、寄付をお考えの方はお気軽にご相談ください。

みなさまのあたたかい善意をお待ちしております。
(税法上における法人税の損金算入、所得税の控除が受けられます。)
寄付の受付・お問い合わせは緑区社会福祉協議会まで。

緑区社会福祉協議会 事務所のご案内 (緑区在宅サービスセンター内)



■最寄り公共交通機関
市バス「鳴子町」(徒歩約5分)

■お問合せ・受付時間
月～金曜日(祝日除く)
8時45分～17時30分



こちらの二次元コードより
みどりのふくしの音声版が聴けます!



社会福祉法人 名古屋市緑区社会福祉協議会
尾藤 宗男 会長



名古屋市緑区
長嶋 利久 区長



緑区社会福祉協議会
マスコットキャラクター
にじーな



緑区マスコットキャラクター
みどりっちょ

緑区60周年記念対談 「緑区の地域福祉のこれから」

地域福祉活動の現在

尾藤会長 (以下尾) 緑区60周年おめでとう
ございます。

長嶋区長 (以下長) ありがとうございます。
60年前は7万人弱だった人口も今では25
万人に迫る市内最大の区となりました。緑
区には公園や緑地が多い他、旧跡や史跡の
他、伝統産業の「絞り」など歴史や文化も
とても大切にしているなど、魅力的でとて
も住み良い街だと思います。また、私が区
長として特に感じているのは、この緑区の
魅力が、地域の皆さんの熱心な地域活動に
よってつくり、支えられている、というこ
とです。

尾) そうですね。昔からこの地域は、地域の
つながりも強く、地域住民自身の手で、歴
史や文化を大切に守ってきました。盆踊り
など世代を超えた地域での交流イベントや
高齢者が集まる「ふれあい・いきいきサロン」
等も、コロナ禍まではとても活発でした。
今年度、それらは徐々に再開されてきまし
た。しかし、コロナ禍の休止期間を経て、
担い手の高齢化や役員の交替等もあり、運
営ノウハウが地域の中で引き継がれず、再
開が難しい、といった声も多く聞こえてき
ます。

長) それまで当然のようにあった地域の中
でのつながりが切れてしまい、まさに「今
まで当たり前だったこと」が「当たり前でな
くなった」状況と言えますね。コロナによっ
て、その後の私たちの暮らし方や生活全体に
大きな変化が起きてしまっています。このよ
うな変化に合わせた地域住民同士がつなが
るしくみについて、考えていく時期に来て
いるように思います。

これからの地域福祉活動の展開

尾) 多くの学区で取り組まれています。私
の住む地域の福祉推進協議会でも、孤立死

をきっかけに、ひとり暮らし高齢者の希望
者にお弁当の配食を行っており、現在も希
望者に月一回実施しています。お弁当を持
ていくことがきっかけになり、日常の中で
人と人がつながり、何かあったときにも
声を掛け合えるようになっていきます。緑
区全体を見ると一軒家が少なく、高齢者
のみの世帯が急速に増えています。そのよ
うな中、こういった地域での地道な活動
こそが、地域のつながりづくりという点
では、とても大切だと思います。私自身
もひとりの高齢者として、その大切さを
実感しているところで。

長) 社会的孤立の深刻さが増す中、潜在化
する困りごとをどう吸い上げていくかは
大きな課題ですね。特に高齢者の方は、
他の人に迷惑をかけてはいけないと内に
貯めてしまう傾向があるように感じてい
ます。つながりをつくって、「一緒に何か
やりましょう」と地域の活動に誘いあ
うことも大事だと思います。

尾) 私も社会と関わっていくことが元
気や若さの秘訣と思っています。こちら
から出向くことも大事ですが、できれば
高齢者自身ももっと外に出て地域と関
われるようになることが理想と思ってい
ます。私が社協の会長に就任して約10
年になりますが、この間、地域のみな
さまには、ふれあい・いきいきサロ
ンや子育てサロンといった、ご近所
さん同士のつながりづくりや交流の場
を、地域の中にたくさん開設していただ
きました。

長) 尾藤会長の「地域の中での人と
人とのつながりが大切」という思いは、
緑区に広がっていると思います。そのよ
うな交流の場は、現在区内に260か所
以上あり、市内最多です。そしてそれ
が今も年々増えていると伺っています。
それらを運営する地域のみなさまと社
協が同じ方向を向いて取り組んできた
成果ではないでしょうか。大変素晴
らしいことだと思います。

尾) また、緑区は、子どもとその親
世代も年々

増えています。これらの世代の方々を地
域福祉活動にどう巻き込んでいくかも
今後の重要な視点だと思います。

長) 定年の延長や女性の社会進出
などで子ども会等昔と同じやり方が
できなくなってきています。ゆるやかに
関わられるしくみが必要ですね。ボラ
ンティア活動以外にも寄付など、地
域福祉活動にも色々な形があります。
人それぞれでできることから取り組
み、その中でつながりができていくと
よいと思います。

社協への期待

長) 8050問題やひきこもりなど「複
合化・複雑化した課題を抱える世帯」
の問題が顕在化・増加しています。こ
うした方たちへの支援は、既存のしく
みだけでは十分に対応できないところ
もあります。単独の機関だけでなく、
関係機関の連携による支援が必要
です。区役所・支所・保健センター
においても、横のつながりをつくって
情報共有するなど庁内連携を強化し、
これらに対応できる体制をつくり、地
域のみなさまや社協と一緒に、区民
のみなさんの暮らしを支えていこう
と考えています。とりわけ、地域の
専門機関や地域住民とのネットワーク
をもっている社協は、こうした課題
解決を進めていく際のパートナーだ
と思っています。

尾) ありがとうございます。社協では、
令和6年4月から新たに「重層的支援
体制整備事業」を名古屋市より受託し、
地域のみなさまが抱える複合化・複
雑化した支援ニーズに対応していきま
す。また、現在、第5次緑区地域福祉
活動計画を策定しています。これか
ら、地域のみなさま、区役所、関係機
関と連携・協働し、活動計画の基本理
念「みんなで作る 人がつながり支
えあうまち 緑区」をめざし、緑区
の地域福祉推進に取り組んでいきま
す。本日は、ありがとうございました。

緑区地域福祉のつどい

多年にわたり地域福祉活動に取り組む方々の表彰を行い、地域福祉を推進されている関係者のみなさまに、より福祉に関心を持っていただく機会となるよう、講演会を開催します。

日時 令和6年2月29日(木)

受付時間/13:30 開演/14:00

入場無料!
申込不要!

- ・第1部 緑区地域福祉事業功労者等顕彰式典
- ・第2部 福祉講演会

講師: 一般社団法人 注文をまちがえる料理店

代表理事 和田 行男氏

手話・要約筆記あります

場所

徳重地区会館 体育室(ユメリア徳重 4階)
(緑区元徳重一丁目401番地)



プロフィール

1955年、高知県生まれ。特別養護老人ホーム勤務などを経て、1999年に東京都初の認知症高齢者グループホーム「こもれび」の施設長に就任。2003年から株式会社大起エンゼルヘルプで、デイサービスやグループホーム、小規模多機能ホームなどを統括。2016年に認知症患者がホールスタッフを勤める「注文をまちがえる料理店」を立ち上げるなど従来にないアプローチを開拓し続け、認知症への社会理解を深めるさまざまな活動を行っている。

主催: 社会福祉法人 名古屋市緑区社会福祉協議会
〈電話〉052-891-7638 〈FAX〉052-891-7640
〈メールアドレス〉m-fukushi@nmidori-shakyo.jp
〈ホームページ〉<https://nmidori-shakyo.jp/>

